

(一) 五月二十日

里沖の珊瑚の自生地の中水探訪、武家屋敷跡、長目の浜、なまこ池、須口池、貝池、あびき（副振動）により被害を受けた小島漁港の被災状況、カノコユリ自生地での山焼きの現場、蘭牟田瀬戸架橋建設予定地、ウミネコ繁殖地、海底光ケーブル陸揚地点、ウミネコの餌付け体験、鹿島断崖、ナポレオン岩、下甕海岸線、孤島の野犬の像、弓折牧場、釣掛埼灯台、おふくろさん歌碑。

(二) 五月二十一日

こしき海洋深層水工場・瀬尾観音三滝、しんきろうの丘・松島展望所、内川内集落、航空自衛隊下甕島分屯基地における新型レーダーサイト

七 所感

二〇一一年、九州新幹線全線開通、そして、蘭牟田瀬戸架橋開通、甕縦貫道路の全線改良を見据え、宝の島甕島が今以上に光り輝くように、航路問題、高速船の新船問題、船の便数、道路問題、宿泊・料理等について、今後、総合的に検討していかねばならないと感じているところである。



甕島地域行政視察

建設水道委員会

一 調査事項 都市計画事業に関する状況について（まちづくりへの取組について）

二 調査先 北海道小樽市、千歳市、室蘭市

三 調査年月日 平成二十一年五月十九日から二十一日まで（三日間）

四 出席委員 石野田委員長、谷津副委員長、上野委員、池脇委員、宮里委員、宮脇委員、山之内委員、持原委員

五 調査の目的

中心市街地活性化計画、移住促進事業などの取組と、その成果について学び、薩摩川内市への応用、展開を検討するもの。

六 調査概要

(一) 五月十九日 小樽市

中心市街地活性化計画、小樽市移住促進事業

(二) 五月二十日 千歳市

「千歳市ジュニア景観士」子ども「千歳市ジュニア景観士」子ども

「まちなみ探検隊」制度

(三) 五月二十一日 室蘭市

祝津地区の温泉開発

七 所感

それぞれの歴史と文化を重んじながら、過去との調和を保ち、そして現在の課題に対する今後の市政の在り方を、どの自治体も真剣に考え、実践していることを肌で感じる事ができた。これからの自治体は、更なる価値観の多様化が進むゆえに、現実をより詳細に見極める必要が出てきたと感じるものである。とりわけ、年間一千万人を超える観光客が訪れる今回の視察自治体は、積極的な市場調査を行い、正確なデータに基づいた戦略の下、アグレッシブな政策を展開し、まちづくりに「今やるべきことを集中して実施する」という強い意思と責任感が感じられた。同時に、非常に緻密な作戦を持って遂行しているその姿には、



小樽市行政視察

まちづくりの効率的な推進を意識されていることもうかがえるものである。本市への展開に当たっては、目的を、シテイセールスにおける施策、政策の立案と取組方法に置き、それについて今回得られた情報は、実に参考になるノウハウである。今後、具体的な応用・展開の方法について、あるべき姿を見極め、提言を行っていきたいと考える。